

日本音楽教育学会
第53回大会 国立音楽大学

Program プログラム

オンライン
開催



対話する音楽教育
-ダイバーシティ&インクルージョンに向けて-

2022年11月5日(土)・6日(日)

後援：国立音楽大学

国立音楽大学で開催される日本音楽教育学会 第53回大会（オンライン開催）のご案内です。
詳細については、第53回大会HP（下記URL及びQRコード）をご参照ください。

URL：<https://sites.google.com/kunitachi.ac.jp/jmes53-at-kcm/>

会員以外の方も参加できます。大会HPから申し込みをお願いします。

申し込み締切 10月13日(木) 15時(厳守)



日本音楽教育学会会長 権藤 敦子
第53回大会実行委員長 津田 正之

本大会の問い合わせ先 国立音楽大学内大会事務局 jmes53office@gmail.com

【日程表】

11月5日 (土)	9:00	12:10	13:20	13:40	13:50	15:50	16:00	17:00
	研究発表 A~J (口頭発表)		昼休憩					
		ポスター発表R 11:40-12:40	開会式	大会実行委員会企画			総会	



11月6日 (日)	9:00	12:10	13:10	14:50	15:00	16:30
	研究発表 K~Q (口頭発表)		昼休憩			
	共同企画 I, III, V	共同企画 II, IV, VI (VIは -11:40)	ポスター発表S 11:40-12:40	院生フォーラム 11:40-13:00	常任理事会企画 (プロジェクト研究)	共同企画 VII~XVI (XVIは-16:00)

大会に関する情報は大会 HP をご覧ください。HPの情報は適宜更新していきますので、定期的にご確認ください。

【実行委員会企画】 ジャズを通して考えるこれからの音楽科教育

—即興、越境するアメリカ音楽をめぐって—

大会実行委員テーマを「対話する音楽教育—ダイバーシティ&インクルージョンに向けて」としたのは、人と人、人と音楽との対話から、ジェンダー、年齢、障がい、階層、民族、出身国の違いなどに関わらず、それぞれの個を尊重し、認め合い、よさを共有し生かしていく、そのような音楽科教育を目指していきたいという思いからです。

大会実行委員会では、このようなテーマを踏まえ、アメリカで生まれ、世界中の国々で展開しているジャズを取り上げます。国立音楽大学ジャズ専修教授である池田篤カルテットによるジャズの演奏を交えながら、ミュージシャン、即興演劇研究者、音楽ライター、音楽教育研究者による対話を通じて、これからの音楽科教育のあり方について考えていきます。



第1部：即興アンサンブルにおける演奏家の思考と相互作用、創発から音楽科における音楽づくり・創作の学習活動を考える

第2部：ジャズとアメリカ、文化的なコンテクストに音楽科はどう向き合うかを考える

【常任理事会企画】 生活史の中の音楽と音楽教育

Music in Life History and Music Education —ライフヒストリーとして語られる音楽経験—

本プロジェクト研究は、昨年度・一昨年度と、学校の音楽科授業における子どもたちの学びを見つめてきました。そこで今年度から次年度にかけて展開するプロジェクト研究においては、学校教育から少し視点を広げて、人の生活経験の中での音楽という観点から音楽教育を捉えてみます。教育学の分野でとくに教師のライフヒストリー研究で著名な高井良健一氏をお招きしての基調講演「ライフヒストリー/ライフストーリー研究が誘う豊饒な学びの世界」を受けて、プロジェクト研究に関わる会員から音楽教育研究におけるライフヒストリーについての報告を行い、高井良氏から報告へのコメントをいただき、意見交換を行う予定です。

【研究発表（口頭発表・ポスター発表）】 音楽教育の理論と実践に関する118件の研究発表

大会 HP プログラム参照

【共同企画】 16団体の研究発表（タイトルのみ サブタイトルは除く）

・教員養成大学における実践的なカリキュラムデザインの研究／・降矢美彌子の目指した音楽教育2／・小学校音楽科授業における「体を動かす活動」の意義とその目的／・コミュニティ音楽と学校音楽の連携から即興音楽表現を考える／・音楽思考の可視化を考える／・遠隔地をつなぐ音楽表現活動の可能性(2)／・小泉文夫の音楽教育論から学ぶもの(3)／・Universal Design と Social Inclusion／・新時代の学校音楽教育／・音楽の「継承」へのまなざし／・音楽科教育の実践研究を問い直す(2)／・共主体の幼児音楽教育を考える／・学校教育における音楽の役割と意義その2／・音楽科の教育内容を繋ぐわらべうた／・《カノン》を題材にしたミュージッキング／・みて、きいて、わたしたちの手歌の表現を！

【院生フォーラム】 音楽教育の研究法を考える

大学院生によるフォーラム。テーマについてディスカッションを行います。テーマに関心のある方、院生同士の交流を希望する方など多くの院生の参加をお待ちしています。